

お客様のケーススタディ



XpertEyeで環境に配慮：国際的な研究・教育における環境負荷の低減

課題

ケルン大学 (UoC) は、移動手段の制限とCOVID-19の流行により、研究と教育における国際協力の実施に課題を抱えていました。そのため、CO2排出量を削減しながら、リアルタイムで遠隔地のコミュニケーションやコラボレーションを促進し、フィールドトリップを記録し、教材を強化できるソリューションを必要としていました。

ソリューション

XpertEyeは、現場と遠隔地の研究者間の遠隔支援、直接コミュニケーション、協力を促進します。UoCのカール・シュナイダー教授は、研究と教育における国際協力を強化するために、スマートグラスのXpertEyeを選択しました。



- 教育：XpertEyeは、フィールドラボや遠足の準備、調査結果の文書化、追加学生の参加促進に役立ちました。XpertEyeはまた、記録や教材開発にも使用され、必要に応じてフィールドで学生を指導する可能性を提供しました。XpertEyeは、渡航の制限や病気などの理由で参加できなかった学生たちが、国際的なフィールド経験を積むことを容易にしました。

- 研究：XpertEyeは、遠隔地と現地の研究者間の協力を促進し、背景や技術的な問題に対処し、フィールドワークの効率を向上させました。

XpertEyeを使用し、Nils Eingrueber氏が現地で指導したBVUプネーの学生を対象としたインド・プネーでの都市気候エクスカージョンの印象。

お客様のケーススタディ

成果

- XpertEyeの使用により、UoCは研究と教育において大きな利益を得ました。教育および研究におけるフィールドトリップの記録、追加学生の参加準備と促進、出張の削減。
- UoCは、国際的な教育と研究のために、INGENIoSデジタル教育・学習プラットフォーム (IDEaL) を開発しました。XpertEyeは、現場での協力的な遠隔学習を統合することで、デジタルで協力的な学習プラットフォームとしてのIDEaLを強化し、ドイツとインドの学生がそれぞれの生活環境から直接体験し、交流することを可能にします。この新しい教育プラットフォームのおかげで、UoCは地理学研究所に32名の学生 (UoCから21名、インドのプネーから11名) を受け入れることができ、通常の最大15名から倍増しました。この革新的なアプローチにより、効果的な遠隔学習とコラボレーションが可能になり、世界のさまざまな地域から集まった学生がシームレスに学び、共に働くことができるようになりました。プネーの学生はUoCが使用する測定機器をライブで見ることができ、逆にケルンの学生は低帯域幅環境でもプネーの状況をフォローすることができました。
- UoCは、2023年9月にインドへのフィールドトリップの一環としてXpertEyeを使用する予定です。



「XpertEyeのようなデジタルツールは、学生の数など量的にも、障害や移動にハンディキャップのある学生など質的にも、国際化へのアクセスを大幅に拡大します。XpertEyeのハンズフリーで双方向の低帯域通信は、現場や研究室での協力を特に役立ちます。」



カール・シュナイダー教授、
水文学・気候学研究グループ、
地理研究所／カリフォルニア大学



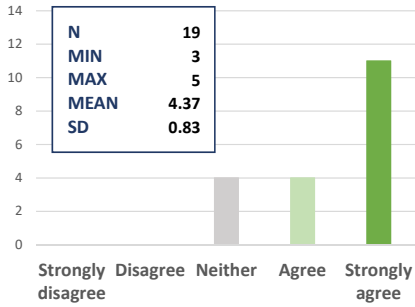
「バーチャル・エクスカージョンは、適切なツールが使用されれば、総合的な学習経験を増やすことができます。XpertEyeは学生たちにとっても好評でした。」



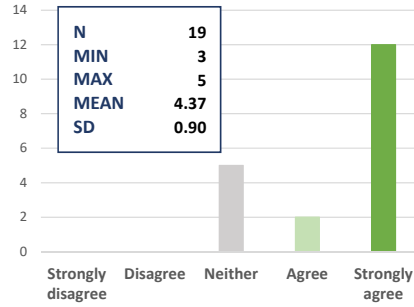
ニルス・アイングルーバー修士、
地理研究所研究員、講師、
UoC博士候補生

お客様のケーススタディ

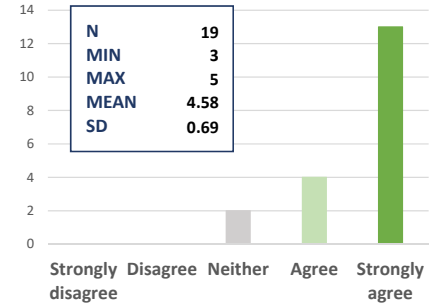
I would recommend using XpertEye to augment lectures, excursions and field trips.



I think XpertEye is better suitable than ZOOM, Teams or Facetime in field research and teaching context and to support internationalization.



I think XpertEye is a useful tool to improve international exchange, to enable international excursions, and to participate virtually in trips (e. g. to save CO2).



教育におけるXpertEyeの使用に関する評価:2022/2023年冬学期にNils Eingrüberが担当した授業「都市気候学-基本概念とENVI-metによる微気候モデリング」に参加したドイツ人とインド人の学生を対象に実施したアンケートの結果。